

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		デイサービスあかり		公表日		2025年 4月 29日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・活動や時間帯によって過密状態になってしまったため、活動内容を分散し対人距離十分に確保できるようにしています。	・活動等によりこども達が過密し、十分なスペース確保が難しい事がある為、集中する時間の活動人数を分けて行っていく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		・マンツーマンにちかい職員体制をとり、一人ひとりと向き合っている事を大切にしています。	・職員研修の機会を確保し、専門性の向上に努め、こども達がより安全に安心して過ごせるようにしていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・室内は全てバリアフリーになっています。 トイレ2カ所（1カ所は介助用トイレ）	・各所の扉等への、挟み込み防止対策を行う	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・事業所内は、常に清潔に保つように心がけており、空気清浄機の設置や消毒を行っています。	・今後も、感染予防対策を徹底して行っていく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・本人の気持ちの切り替えなどで個別に対応する場合、必要に応じて別室（相談室・更衣室）で対応しています。	・今後も安心安全な環境づくりを心がけていきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・事業所内で目標設定をし、よりよい支援の向上を意識しています。 ・支援前ミーティングでは、支援の振り返りと話し合いの場を設けています。	・今後も職員全体で話し合いを行い、業務の改善策について検討してまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・年に一回実施し、保護者様の意向を職員全員が把握し業務改善につなげています。	・保護者様から頂いたご意見をもとに、より良い支援ができるよう努めてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員ミーティングで意見交換を行い、検討と改善につなげています。	・今後も、職員の意見の出しやすい仕組みづくりと風土を築くことで、職員ミーティングでの意見交換の充実、業務改善につなげてまいります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・第三者委員は設置していますが、評価を受けるまでに至っていない為、今後検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・研修の機会を確保し、随時積極的に受講しています。	・今後も事業所内研修、法人全体研修を含め外部研修にも参加し、職員に資質向上に努めてまいります。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムを作成し、ホームページにて公表しております。	・保護者様が周知できるよう努めます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・定期的にあセスメントを行い、こども達の状態や保護者様のご意見を踏まえ、適切に支援計画を作成しています。	・今後もアセスメントを適切に行い、常にお子様及びその保護者様の立場にたって、支援計画を作成いたします。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・こども達に関わる職員が共通理解を図るため、ミーティングを開催し情報共有を図っています。	・職員間の共通理解の拡充を図るため、非常勤職員との情報共有の機会も増やしていきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・ミーティングでの情報共有を行うと共に、職員が個別支援計画をいつでも確認できるようにしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・事業所で作成したアセスメントシートを活用しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・放課後等デイサービスガイドラインを基に、こども達の状況や課題、保護者様のご意向から必要な支援内容を組み合わせ設定し、計画を立てています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・職員全員で話し合い、こども達が楽しく色々な体験が出来るように考え活動プログラムを作っています。	・今後も楽しく様々な体験を積み重ね、生活するうえで必要な力を伸ばしていけるように活動プログラムを考えていきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・季節行事等を取り入れ、こども達が楽しく色々な経験ができるように考え、活動プログラムが固定化しないよう工夫しています。		

援助の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・こども達の発達段階に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画を作成しています。	・今後も個別活動と集団活動をバランス良く組み合わせ、より良い支援ができるよう支援計画を作成してまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎朝、当日の流れや、支援内容・役割分担について確認を行い、その都度確認するようにしています。	・今後も支援内容や役割分担の確認、情報の共有を徹底してより良い支援に繋げてまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援終了後、送迎等で難しい場合もありますが、支援の中で気づいた点や、気になることなどを職員間で伝えあい、共有しています。	・今後も職員間の情報共有の徹底のため話し合いの場を持ち、より良い支援に繋げてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・業務日誌・個別日誌及び保護者様との連絡帳において、日々気づいた点、その日の体調、生活状況の変化等を記録し、振り返りを行っています。また、その都度職員間での連携・情報の共有をおこなっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的なモニタリングを実施し、保護者様と児童の現況把握・振り返りを行ったうえで見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・様々な活動を通して成功体験を積み、自己肯定感を高める、他者と関わる、表現する喜びを体験する等の場面を設けながら支援しています。また、主体的に参画できる活動を多く取り入れています。	・地域交流、学校との連携の部分が弱く、検討と課題です。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・活動の中で自己選択する等の場面を設けながら支援しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者が必ず参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・関係機関との連携を図り 情報共有や支援方針について共有を図ります。	・関係機関との連携と事業所内での情報共有を円滑に行えるよう努めます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・学校の行事予定表や連絡調整等は、書面やメールにてお知らせいただいております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・相談支援専門員を通じ、情報共有を受けています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・相談支援専門員や、障害福祉サービス事業所と連携を図り、情報共有を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・発達検査や知能検査を受けた場合、その報告書を保護者同意のもと共有しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	・活動の中で、社会体験の場を設け地域に向っています。	・直接的に交流することが少なく、積極的に交流する機会を増やしていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・柏市（自立支援）協議会等へ参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時に保護者様とお会いしてお伝えするように心がけていますが、送迎時にお会いできない場合は、連絡帳や電話等で情報共有しています。	・今後も引き続き保護者様と情報共有の充実に 図り、共通理解に努めます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・送迎時や連絡帳のやりとりを通して連携をとりながらお声がけをし、保護者様に支援内容を理解していただき、ご協力頂ける部分は取り組んで頂いています。	・今後も保護者様のお悩みに寄り添う支援ができるよう努めてまいります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に説明させていただいております。また、不明な点等は随時職員が説明するようにしています。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・お子様と保護者様の意向を計画書に記載し、ニーズを踏まえた支援計画を作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・支援計画内容を説明する面談を設け、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・定期的な面談とその都度、お子様の現況に応じて保護者様とお話しし、悩みや相談に適切に対応するように心がけています。	・保護者様が相談しやすい雰囲気づくりにも努めてまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		・保護者会等の開催が行えておらず、勉強会等を検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情や申し入れについては苦情窓口を決め、頂いたご意見は全職員に周知し、迅速かつ適切に対応するように心がけています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・ニュースレターやHPにて活動概要や行事予定を公開しています。連絡事項等は都度、保護者様に連絡するようにしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報が記載された書類はキャビネットに保管しています。また、個人情報の取扱については十分注意するとともに、取扱に際しては、その都度、その目的や内容等について保護者様に確認し、了解を得たうえで関係機関と連携させていただいております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・子どもの特性などを把握したうえで、配慮しています。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・交流の機会を増やせるよう、検討していきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各マニュアルを策定し職員間で共有し、定期的に緊急時を想定した訓練を実施しています。	・今後も継続して保護者様へ各種マニュアル等をご覧いただけるようお知らせし、訓練も実施してまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPに沿った研修・訓練を実施しています。職員による避難手順や経路確認、連絡訓練の他、子ども達とともに防災頭巾や室内での集合訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・利用開始の際、保護者様に健康状況を記入していただき確認しています。また必要に応じて聴き取りも行っています。	・緊急時に適切に対応できるように、定期的に子どもの既往歴や服薬等についての情報共有を行うようにしていきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・保護者様の指示書に基づいて対応しています。 ・アレルギーの原因となりうる教材の使用は見合わせるか保護者様の同意を得たうえで使用することもあります。（小麦ねんど、牛乳パックなど）	・指示書がある場合は職員間での周知を図ります。また、より良い周知方法を検討していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練などを統括管理しています。	・安全計画を適切に活用するために毎年見直しを行っています。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・安全計画に基づき、感染症や怪我などについて注意喚起や事業所の取り組みについて、周知に努めています。	・保護者様へのお知らせが、安全計画に基づいて行われていることへの周知が不足しているため、より分かりやすい周知方法を検討します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・危険な事例があった場合、報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有しています。	・今後は事例が発生しないよう注意し、発生した場合にはすべて記録し全職員で共有してまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止に関する研修に参加し、職員へ内容を周知しています。	・今後も虐待に関する研修を繰り返して行い、職員全体で周知・徹底してまいります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・身体拘束は行っていませんが、活動について、子どもの安全確保のための行動制限に関しては事前に保護者様に説明し了承を得ています。	